

授業科目 慢性期看護論

【担当教員名】 新谷恵子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

慢性病や長期的な疾患を持つ対象に対する生活の変化と療養バランスを保ちつつ最良な健康状態を継続していくことができるよう援助するための理論と方法について学ぶ

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

1. 慢性期看護の概念について理解する
2. 慢性期にある人およびその家族の特性を理解する
3. 慢性期にある人が直面する問題解決に活用できる理論を理解する
4. 慢性期にある代表的な疾患をもつ人とその家族を支える看護を事例で理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	慢性期看護の考え方（慢性期とは・慢性疾患、治療の特徴・生活習慣病予防・療養環境とヘルスケアシステム）	1	講義・新谷
2	慢性病や長期的な疾患をもち生活する人および家族の特徴と考え方（疾病の受容、慢性性）	2	講義・新谷
3	慢性期の看護援助を展開するために活用できる理論と概念（セルフケア、ストレスコーピング、自己効力感、ICF、看護診断）	3	講義・新谷
4	慢性病や長期的な疾患をもつ人と家族の特徴と看護の考え方（腎不全、糖尿病、がん）	4	講義・栗原
5	慢性病や長期的な疾患をもつ人と家族の特徴と看護の考え方（ALS、COPD、心不全）	4	講義・荒木
6	慢性病や長期的な疾患を持つ小児・学童の特徴と看護の考え方（白血病、喘息）	4	講義・岩田
7	慢性病や長期的な疾患をもつ人の生涯にわたる自己管理支援（廃用性症候群、脳梗塞、高血圧、認知症）	4	講義・梨本

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書	慢性期看護論、鈴木志津枝、ヌーベルヒロカワ／国民衛生の動向、厚生統計協会／成人看護学－慢性期、中西睦子、建帛社／健康の回復と看護、ナーシンググラフィカ⑩-⑬、メディカ出版			
その他の資料	国際生活機能分類（国際障害分類改訂版）、中央法規／事例で学ぶ看護過程、江川隆子、照林社			
【評価方法】		【履修上の留意点】		
参加状況（20％）、試験（80％）で評価する		慢性疾患をもった人のトータルな援助について学習を深めていきます。授業でできることは限られているので、自ら積極的に文献を読むことを期待します。		